「金子兜太記念 秩父鉄道の俳句」を募集します

応募作品　秩父鉄道や沿線風景などを題材とした俳句

応募規定　⑴規定の用紙（秩父鉄道の各駅に設置）によることとします。
⑵句は、規定の用紙１枚につき３句までとし、一人３枚まで応募できます。
⑶応募作品は、未発表のものに限ります。
⑷規定の用紙には、必要事項をもれなく記載してください。

応募締切　**令和３年１２月３日㈮（必着）**

応募方法　秩父鉄道各駅へ提出するか、または下記の協議会事務局あてに郵送してください。なお、郵送料は、応募者の負担とします。

入賞選考・発表等
⑴選者は、内野　修　氏です。
（略歴）１９４３年　大里郡妻沼町（現熊谷市）生まれ
句集「単発機」「直登」「風あり」
「海程」同人を経て現在「海原」同人、現代俳句協会会員、ＮＨＫ学園俳句講座講師（１９９１年４月～２０１９年３月）、埼玉新聞「埼玉俳壇」選者
⑵特選３句、入選１０句、佳作３０句とし、それぞれ賞品を贈呈します。（入賞句の数は変更になる場合があります。）
⑶令和４年３月頃に入賞者に通知します。また、入賞句を秩父鉄道各駅に掲示する予定です。

そ の 他　応募作品の著作権は、協議会に帰属します。

問合せ　秩父鉄道整備促進協議会事務局（熊谷市総合政策部企画課内）
〒３６０－８６０１　熊谷市宮町二丁目４７番地１　☎０４８・５２４・１１１１　内線５２９

裁 判 員 裁 判 の 実 施 状 況

裁判員制度

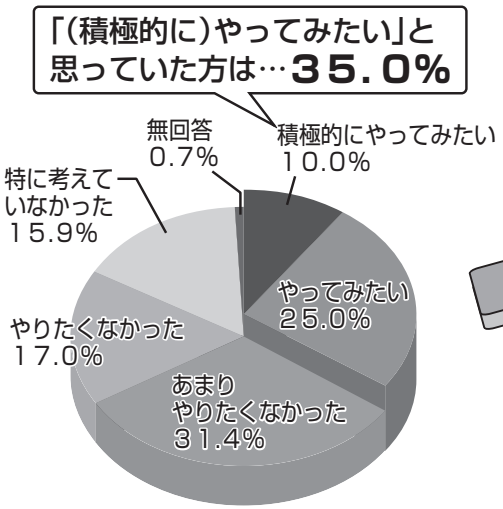
国民の皆様の積極的なご参加に支えられ、裁判員制度はスタートから１０年以上が経過しました。

どのくらいの人が裁判員を務めたの？

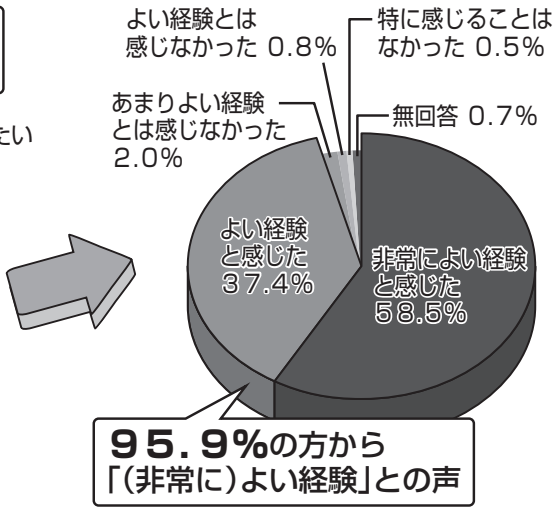
・これまで行われた裁判員裁判は、**約１万３０００件**です。
・**約７万７０００人**の方が裁判員として参加されました。
・裁判手続に参加いただいた日数は、平均約６.０日です。

裁判員に選ばれる前と後での気持ちの変化は？

裁判員に選ばれる前は…



裁判員としてやってみたら…



もっと詳しく知りたい方は…

●裁判員制度ウェブサイト　https://www.saibanin.courts.go.jp/